



# 本村小だより

令和6年7月1日

7月号

東久留米市立本村小学校

校長 永瀬 功二

<http://www.higashikurume-school01.jp/~hon-e/>

Tel 042-474-0404

Fax 042-472-7992

## 地域や外部人材を生かした体験的な学習活動

校長 永瀬 功二

今日から7月、1学期の登校日数も明日からは残り13日となりました。4月の学校だよりでもお伝えしたように、今年度の本村小学校のテーマは「3つのCha/Chance (チャンスを見付けて) Challenge (挑戦し) Change (変える・変わる) ですが、先月6月は様々な教育活動で地域の施設や外部人材を積極的に活用し、体験的な学習活動の充実を図ってきました。

例えば国語科では、市立図書館の職員さんが来校され、1年生の教室で読み聞かせをしてくださいました。子供たちは読み聞かせのお話に引き込まれるようにして楽しみ、本の紹介もしていただいて夏休みに向けて読書の意欲が高まりました。



また、社会科では、3年生が学校の周りや自分たちが住んでいる東久留米市について学びます。屋上から4方位ごとの風景を観察して町の特徴を捉えたり、身近な学区を歩いて見学したりしましたが、6月は足を延ばして東久留米駅まで行き、駅や市役所の施設を見学して、公共施設の役割について体験的に学びました。

また、音楽科では、子供たちが本物の楽器やその演奏に触れる機会として「音楽鑑賞教室」を行いました。

1～3年生は管楽器、4～6年生は弦楽器と、2つの外部団体の協力を得て、低学年では代表の児童が楽器演奏を体験したり、高学年ではアンコールで子供たちも知っている曲を演奏していただいたりと、五感を通して音楽の楽しさに触れる体験ができました。



そして小学校6年間の体験的な活動の集大成と言えば、6年生の2泊3日の移動教室です。群馬県の榛名山にある施設に宿泊し、山や湖などの自然に触れる体験をしたり、歴史的な建造物や自然に関する博物館などを見学したりしてきました。

子供たちは各学年の様々な体験で得た感動や学びから地域のよさを発見し、「自分もこんなことをしてみたい」という意欲を高めました。活動の様子は校内の中央昇降口にも写真で掲示してありますので、個人面談等の機会にぜひご覧ください。